エールフランス航空 フランス観光開発機構　共同プレスリリース

2016 年 9 月 27 日

報道関係各位

エールフランス航空日本支社と
フランス観光開発機構日本事務所
パートナーシップ協定補完合意書に調印
フランス観光の新たな魅力と市場の掘り起こしに向けて

2016 年9月23日、東京ビッグサイトで開催されたツーリズム EXPO ジャパンの会場にてエールフランス航空とフランス観光開発機構日本事務所がパートナーシップ協定補完合意書に調印いたしました。

当調印式は日本最大の旅行見本市で東京ビッグサイトで開催したツーリズム EXPO ジャパンに出展したフランスブースにて行われ、フランス観光開発機構のクリスチャン・マンテイ総裁、エールフランス航空のフランス観光開発機構担当重役ローラン・ジスカール・デスタンの両者が合意書に調印いたしました。

これは、両団体の日本事務所の間で共同プロモーション事項を定めた年次パートナーシップ協定の内容を補完するものであり、また、2016 年 6 月 30 日、エールフランス-KLM グループ旅客営業・マーケティング部門最高責任者パトリック・アレクサンドルと、フランス観光開発機構総裁クリスチャン・マンテイが本国レベルで調印したグローバルパートナーシップ協定の一部に位置づけられます。また、今年 9 月にフランスで開催された旅行業界の国際見本市、【トップレザ】でもエールフランス KLM 会長のジャン＝マルク　ジャナイヤックがエールフランス航空およびフランス観光開発機構の関係強化の重要性について言及しています。

日本からフランスへの主な旅行動向は現在、シニア層による伝統的な見学重視の行程が中心となっていますが、この旅行形態が衰退がみられるなか、エールフランス航空およびフランス観光開発機構は、今後の共同アクションの方向性として次の分野に注力することを、補完合意書の中でとり決めました。

多様化し進化する市場の現状にマッチするプロモーション施策を展開する。
1】テーマ性のある旅、例えばワイン、ゴルフ、サイクルツーリズム、河川ツーリズム、スキー、ハネムーンや海外披露宴などに注力したプロモーション施策を展開する。
2】ビジネス旅行、若年層の旅行など、高ポテンシャルの分野で共同プロモーションを行う。
3】日本市場で徐々に知名度をあげ始めたデスティネーション（コルシカ、北フランス等）と、既に高ポテンシャルを発揮するデスティネーション（オクシタニア、ブルゴーニュ、シャンパーニュ）を漸次的に周知する。

2017 年、エールフランス航空およびフランス観光開発機構は上記の分野に注力し、両者間の人的、予算的資産が許す限り、共同でのセミナー、プレスツアー、旅行会社向け研修旅行、ニュースレター、セールスコールの実施を予定しております。

パートナーシップ協定補足合意書を調印した【左から】クリスチャン・マンテイ（フランス観光開発機構総裁）、ステファン・ヴァノヴェルメール（エールフランス航空- KLM オランダ航空日本・韓国・ニューカレドニア支社長）、フレデリック・マゼンク（フランス観光開発機構在日代表、ローラン・ジスカール・デスタン（エールフランス航空、フランス観光開発機構担当重役）

このニュースレターのお問合せ
フランス観光開発機構
広報担当：
増田真由美/青木麻里子
Tel 03-3582-6968/0994
presse.jp@atout-france.fr

エールフランス航空/KLM オランダ航空
コミュニケーション&PR
山本 裕美子
yuyamamoto@airfrance.fr
Tel 03-5797-8525